

『衣服材料学実験』 朝倉書店

第1刷 正誤表 (2020.6.作成)

頁	行	誤	正																																																																								
3	下から6行目	物質の量から	物質量から																																																																								
"	表1 下から1行目	物質の量	物質量																																																																								
18	上から6行目	多織交織布 (マルチファイバー, 図	多織交織布 (一例として日本規格協会などで頒布, 図19)																																																																								
"	図19の上図		 (羊毛と絹の間にレーヨンを追加)																																																																								
"	図19の説明	図19 多織交織布 (日本規格協会な	図19 多織交織布の一例 (日本規格協会など)																																																																								
19	表9の1行目	多織交織布	多織交織布の一例																																																																								
21	8行目	計算すること.	計算すること*2.																																																																								
"	9行目 織度の式	織度 = 基準長さ (m) $\times n \{d(\mu\text{m})/2\}^2 \times \rho$ (g/m ³)	織度 = 基準長さ $\times n (d/2)^2 \times \rho$																																																																								
"	脇注	*2を追加 (右欄参照)	*2 cm に合わせるとよい. texを算出する場合は $\text{tex} = 1 \times 10^5 \times n (d/2 \times 10^{-4})^2 \times \rho$ となる. dtexの場合は 1×10^6 , Dの場合は 9×10^5 にすればよい.																																																																								
26	下から2行目	<u>L</u> には5mを代入すればよい	<u>l</u> には5mを代入すればよい ※エルは小文字イタリック																																																																								
28	表12	織物名	織物名 (組織名)																																																																								
30	図37	裏目の記号を修正 (右欄参照)																																																																									
31	表14	織物名	織物名 (組織名)																																																																								
"	図38	編目記号を修正 (右欄参照)	表目 <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>5</td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>4</td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>3</td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>2</td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>1</td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> </table> 裏目 <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>5</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>4</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>3</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>2</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>1</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> </table>	5						4						3						2						1							1	2	3	4	5	5	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-		1	2	3	4	5
5																																																																											
4																																																																											
3																																																																											
2																																																																											
1																																																																											
	1	2	3	4	5																																																																						
5	-	-	-	-	-																																																																						
4	-	-	-	-	-																																																																						
3	-	-	-	-	-																																																																						
2	-	-	-	-	-																																																																						
1	-	-	-	-	-																																																																						
	1	2	3	4	5																																																																						
32	図39	編目記号と編成記号を修正 (右欄参	<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>5</td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>4</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>3</td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td>2</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>1</td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> </table> 	5						4	-	-	-	-	-	3						2	-	-	-	-	-	1							1	2	3	4	5																																				
5																																																																											
4	-	-	-	-	-																																																																						
3																																																																											
2	-	-	-	-	-																																																																						
1																																																																											
	1	2	3	4	5																																																																						

頁	行	誤	正																																								
"	図40	編目記号を修正（右欄参照）																																									
33	「厚さ」1行目	【目的】織物の厚さを測定することで、織物の構成要素と厚さの関係を	【目的】織物、編物の厚さを測定することで、織物、編物の構成要素と厚さの関係を																																								
"	「厚さ」下から1行目	【考察】厚さと織物の構成要素との関係を考える。	【考察】厚さと織物、編物の構成要素との関係を考える。																																								
46	表21	材質（%）	組成（%）																																								
"	"	剛軟度（cm）	剛軟度（mm）																																								
47	表22	以下のように修正（下記）	<p style="text-align: center;">表22 スライド法の試験結果</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">試料貼付</th> <th rowspan="2">組成（%）</th> <th rowspan="2">方向</th> <th rowspan="2">W (mN/cm²)</th> <th colspan="2">δ (cm)</th> <th colspan="2">剛軟度 (mN・cm)</th> </tr> <tr> <th>L () (cm)</th> <th>L () (cm)</th> <th>L () (cm)</th> <th>L () (cm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>たて</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>よこ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No.	試料貼付	組成（%）	方向	W (mN/cm ²)	δ (cm)		剛軟度 (mN・cm)		L () (cm)	L () (cm)	L () (cm)	L () (cm)				たて									よこ														
No.	試料貼付	組成（%）	方向						W (mN/cm ²)	δ (cm)		剛軟度 (mN・cm)																															
				L () (cm)	L () (cm)	L () (cm)	L () (cm)																																				
			たて																																								
			よこ																																								
49	表23	材質（%）	組成（%）																																								
69	図96の説明	図93 サーマラボ装置（カトーテックホームページより）	図93 サーマラボ装置																																								
71	7行目	通気量（cm ³ /cm ³ ・s）	通気量（cm ³ /(cm ³ ・s)）																																								
"	15行目	通気抵抗を測定する	通気抵抗（kPa・s/m）を測定する																																								
79	図110の説明	図110 乾燥時間測定装置（東京都産業技術センター）	図110 乾燥時間測定装置（東京都立産業技術研究センター）																																								
81	下から6行目（【試薬】…）と下から5行目（【方法】…）の間に追加	文章を加える（下記）	<p>【前処理】市販の織物には油脂や加工剤が付着しているため、はじめにこれらを取り除く前処理を行う。必要ない場合には省略してよい。準備として、試料を糸の状態にほぐし、長さ約20～30mmに切断しておく。</p> <p>①ソックスレー抽出法：ソックスレー抽出装置の中に風乾した試料と石油エーテルを入れ、1時間に6回以上循環するようにして1時間抽出する。抽出後、試料を放置して石油エーテルを蒸発させる。次に常温の水に1時間浸漬し、さらに65℃±5℃の温水に1時間以上浸漬し、時々液をかき混ぜる。浸漬の浴比は100:1とする。最後に絞って自然乾燥する。</p> <p>②その他の抽出方法：ソックスレー抽出法で付着物が抽出できない場合は、以下の方法で除去する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絹、羊毛、アセテート以外の繊維では、試料の約100倍量の0.5%無水炭酸ナトリウム溶液中に試料を入れ、沸騰水浴中で約15分間処理する。これを60～70℃の温水中で10分間の洗浄を2回行い、その後水で洗浄する。 ・毛またはポリエステルが混用されているものでは、試料を100倍量の約0.3%非イオン界面活性剤水溶液に入れ、60～70℃でかき混ぜながら15分間処理する。処理後は水で十分に洗浄乾燥する。 																																								
83	下から12行目 絶乾混用率の式	$(W_1 F_1 / W) \times 100$	$(w_1 F_1 / W) \times 100$																																								

頁	行	誤	正
97	下から6行目	4枚試料の判定等級の平均値で表す。	4枚の試料の判定等級の平均値で、小数点以下1桁を0または5に丸めて表す。平均値は、小数点以下2桁までの値が0.00以上0.24以下の場合は小数点以下1桁を0に丸め、0.25以上0.75以下の場合は5に丸める。また、0.75以上0.99以下の場合は平均値の整数位に1を加え、小数点以下1桁を0に丸める。
99	下から3行目	スナッグ量だけで判定する。	スナッグ量だけで判定する。平均値は、小数点以下2桁までの値が0.00以上0.24以下の場合は小数点以下1桁を0に丸め、0.25以上0.75以下の場合は5に丸める。また、0.75以上0.99以下の場合は平均値の整数位に1を加え、小数点以下1桁を0に丸める。
117	表43のタイトル	表43 な高分子の K, a	表43 高分子の K, a
120	6行目	示差熱量分析	示差走査熱量分析
123	1行目	赤外収集スペクトル	赤外吸収スペクトル